

第7回 公共施設マネジメント研究会

まちづくりとしての公共施設マネジメント

主催：国立大学法人 名古屋大学 施設・環境計画推進室、工学部施設整備推進室

共催：公益社団法人 日本ファシリティマネジメント協会、広域横断型地域施設再編研究会

ご挨拶

名古屋大学では、2009年より「公共施設マネジメント研究会」を開催し、大学、行政機関、産業界と連携して、新たな公共施設のあり方を考えて参りました。第7回となる今回は、まちづくりや都市計画と連動した公共施設マネジメントへのアプローチ方法について考えます。

2014年4月総務省から全自治体に対して「公共施設等総合管理計画」策定の要請が出されました。同時期に内閣府からは政権が進める地方創生の一環として「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が、国土交通省からは都市再生特別措置法に基づく「立地適正化計画」の策定が、各自治体に求められています。

現在、多くの自治体において、これらの計画策定に向けての検討が進められています。本来、これらの戦略や計画は独立したものではなく、相互に深く関連する、自治体のまさに総合戦略に基づくものでしょう。しかし、これらに関連づけて検討している自治体はごく僅かなように見受けられます。

今回の研究会では、都市計画や公共施設計画、マネジメントの専門家にお越しいただき、まちづくりや都市計画との親和性をもった、市民の視点に立った公共施設のあり方について議論を進めたいと考えています。

講演では、名古屋大学の恒川和久より、愛知県各自治体における取組み状況について主旨説明を交えて紹介します。東京大学の村山顕人さんからは、自治体の「統合的空間計画」を中心とするマルチ・スケールの空間計画制度の枠組みについて、日建設計総合研究所の川除隆広さんからは、施設のアクセシビリティやコンパクトシティ実現前後の行政コスト分析について、五星の天米一志さんからは、愛知県西尾市をはじめとする公共施設再配置の実践における官民連携の方法等について、お話しいただきます。

その後、先進の知見をより深く理解するために、講演者を交えたパネルディスカッションを計画しております。万障お繰り合わせの上、ご参加頂ければ幸いです。

■開催日時 (会費無料 / 要申込)

2016年3月30日(水) 13:30~17:15(受付開始:13:00)

■会場

名古屋大学 ES 総合館 1階 ES ホール(定員 200名)

<http://www.nagoya-u.ac.jp/global-info/access-map/higashiyama/>

■プログラム

13:30~13:40

開会挨拶：木村 彰吾 (名古屋大学 施設担当理事・副総長)
司 会：松岡 利昌 (名古屋大学 施設・環境計画推進室)

第1部

13:40~14:00

主旨説明・講演1：恒川 和久 (名古屋大学 工学部施設整備推進室)
「まちづくり・都市計画としての公共施設マネジメント」
~ 愛知県各自治体の事例から ~

14:00~14:30

講演2：村山 顕人 (東京大学大学院 工学系研究科都市工学専攻)
「脱成長時代の都市・まちの将来像と空間計画」

14:30~15:00

講演3：川除 隆広 (日建設計総合研究所)
「都市構造の観点からみたアクセシビリティと行政コスト分析」

15:00~15:30

講演4：天米 一志 (五星 パブリックマネジメント研究所)
「地方創生を担う官民連携とは！」

休憩

第2部 パネルディスカッション

15:50~17:15 上記講演者を交えアンケートを基に Q&A セッション

閉会挨拶：奥宮 正哉 (名古屋大学 施設・環境計画推進室室長)

意見交換会 17:30~19:00 (要申込・参加費 3,000円)

申込締切：2016年3月23日(水)

申込・問合せ先：名古屋大学工学部施設整備推進室(担当) 水谷

E-mail: mizutani.eri@a.mbox.nagoya-u.ac.jp

TEL: 052-789-3742

名古屋大学ファシリティマネジメント研究会ホームページ：<http://fm.campus.provost.nagoya-u.ac.jp/index.html>